

雪印メグミルク(株) 日野工場跡地

大規模土地取引行為の届け出地の
概要について

大規模土地取引行為

届出地

【仮換地指定地番】

日野市大字日野635番地の2ほか22筆
面積 約5,387m²

届出者

雪印メグミルク株式会社
代表取締役 西尾 啓治

届出日

令和3年4月28日

主な土地利用目的 事務所兼配送センター

現状の土地利用形態

従前の土地利用

工場跡地(現状:遊休地)

用途地域

準工業地域

(建ぺい率200%、容積率60%)

地区計画

万願寺第二地区地区計画

誘導容積制限適用地区

産業・住宅地区

周辺の土地利用経過

平成25年 工場撤退について事前申出

平成26年 雪印メグミルク(株)日野工場閉鎖

平成27年 ロッテアイス日野工場閉鎖 ⇒ 総面積 2.7ha

市より工場跡地の土地利用について要望

- ・関連企業による土地利用
- ・住宅・商業以外による土地利用
- ・市内等企業の集積への協力
- ・地域活性化・市民雇用創出等の地域貢献に資する土地利用

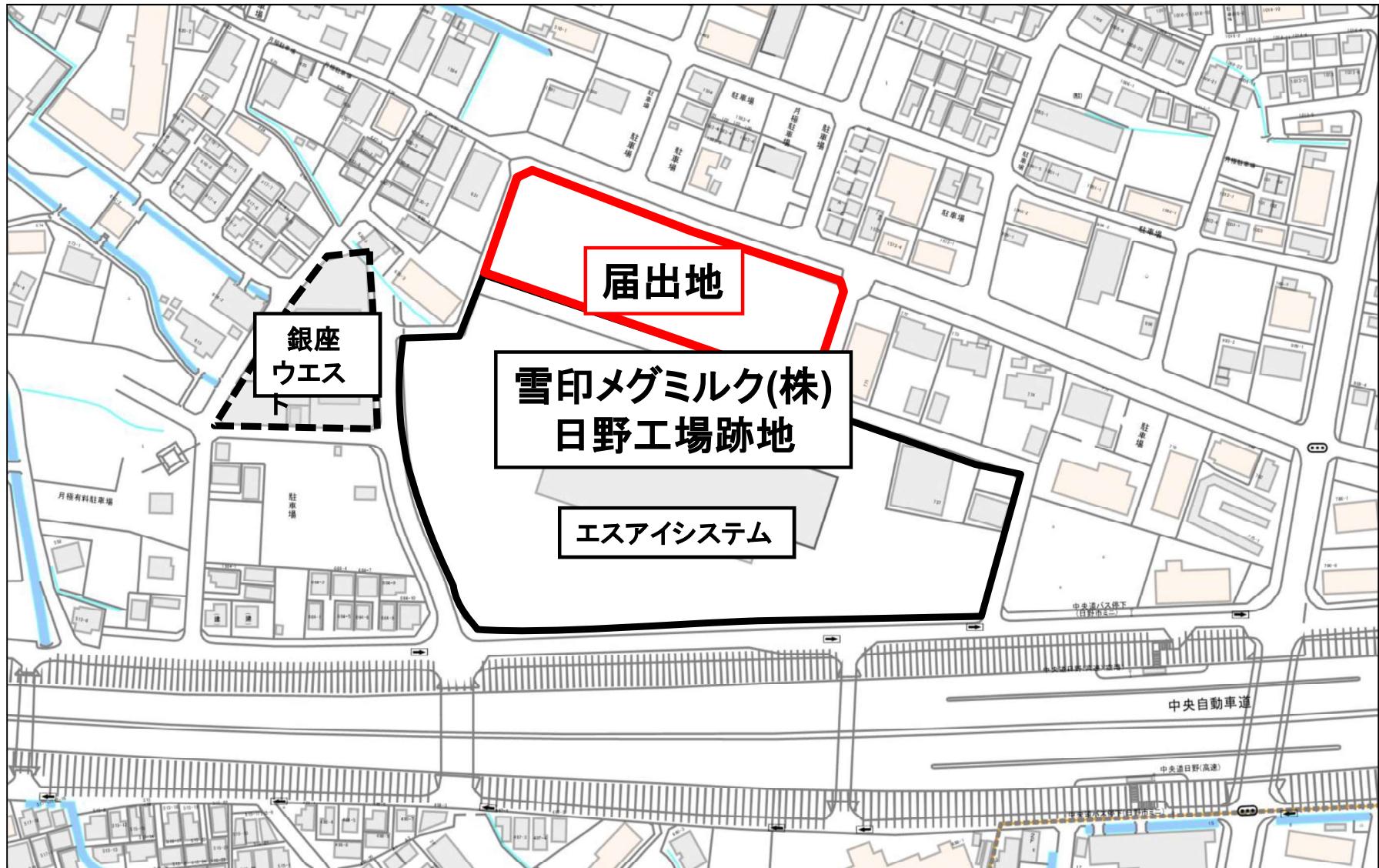
平成28年 南側の土地利用構想の届出

倉庫(倉庫業を営まない) (株)エスアイシステム

平成29年 南側の土地利用開始

※参考 西側の土地利用 工場兼直売場:銀座ウエスト

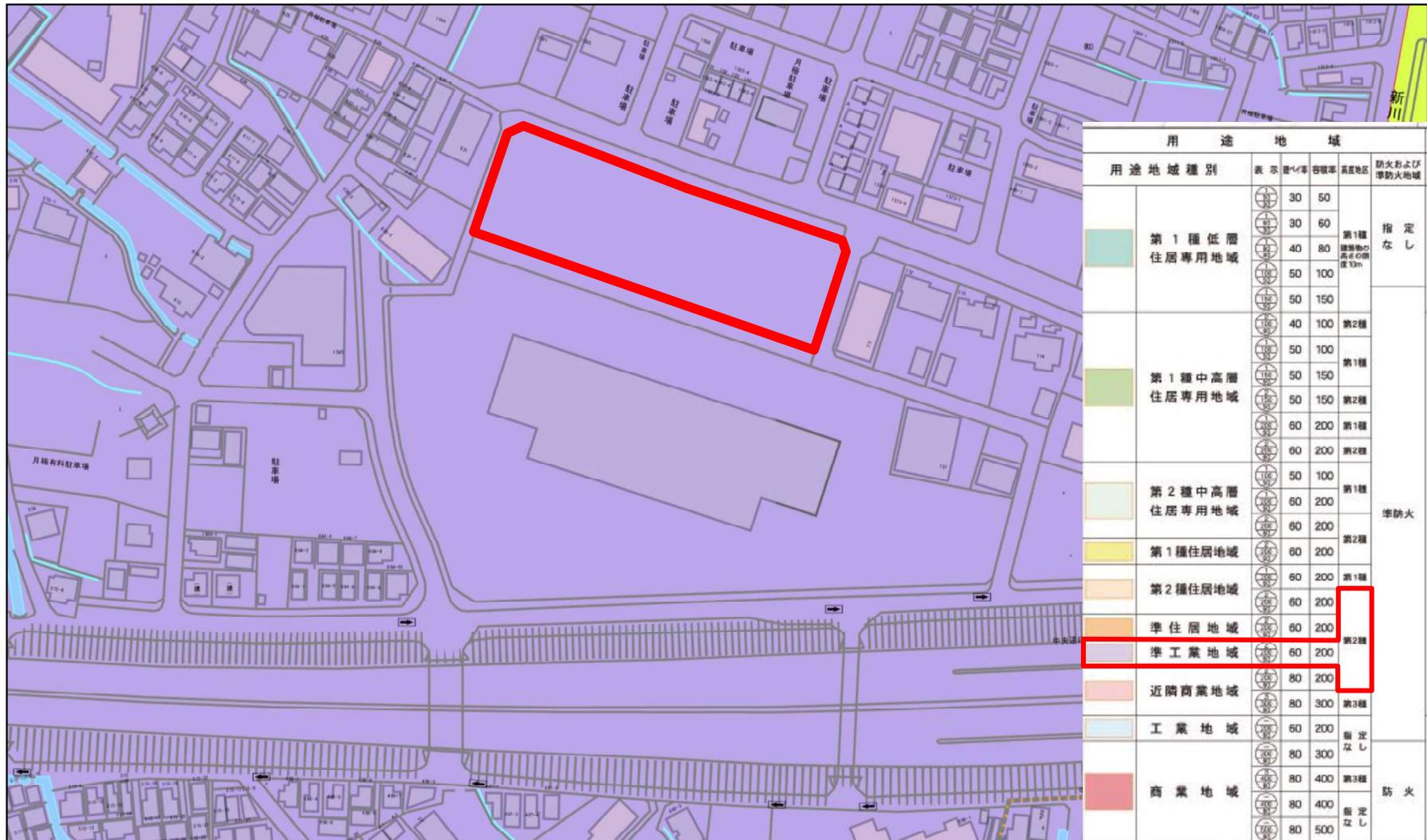
位置図



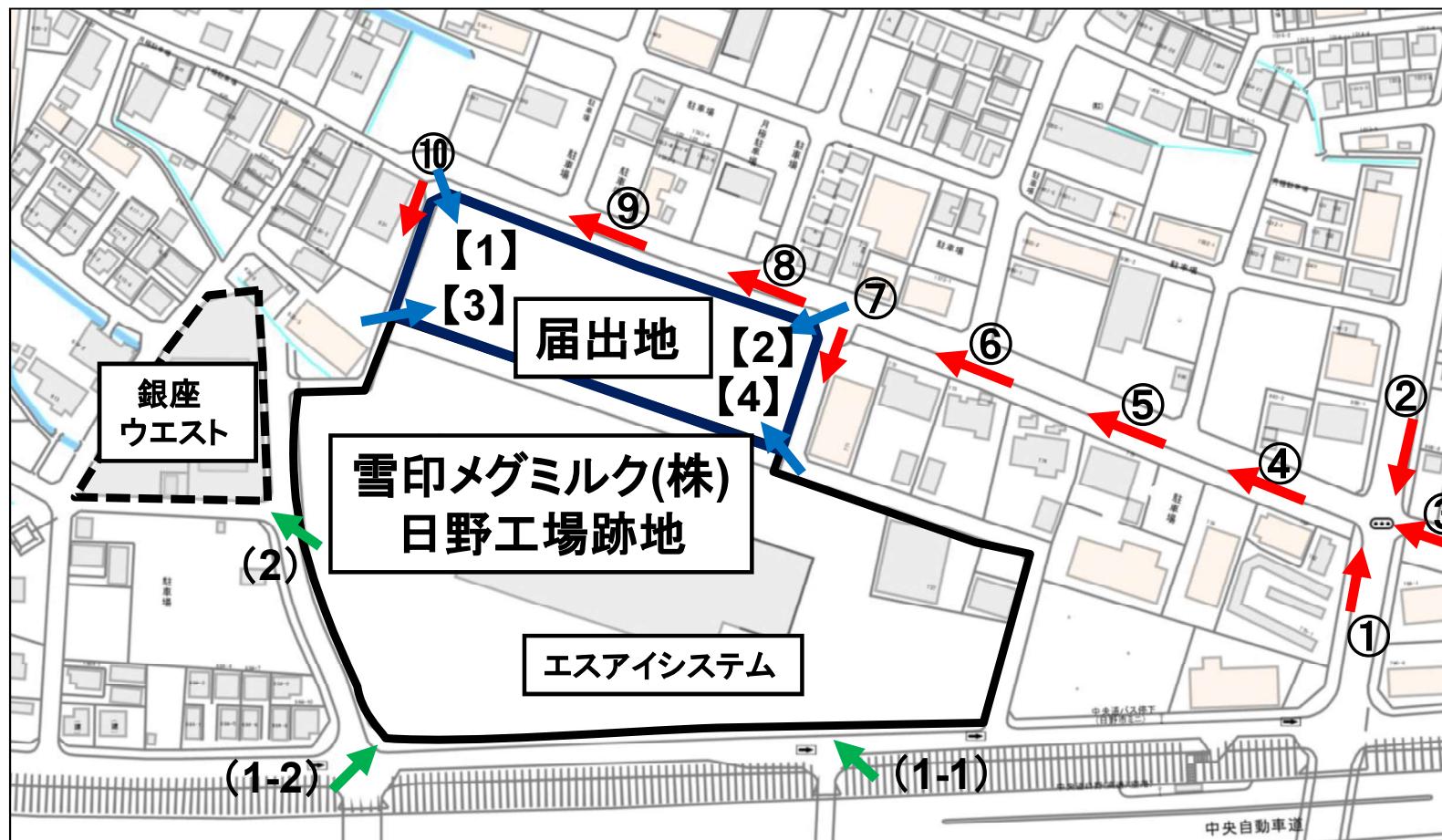
届出地及び周辺状況



用途地域



届出地及び周辺状況現地写真



【届出地】



(その他)
周辺施設



「車両搬入ルート」



土地利用構想

【工業系土地利用】

住工が共存する活気のある地域

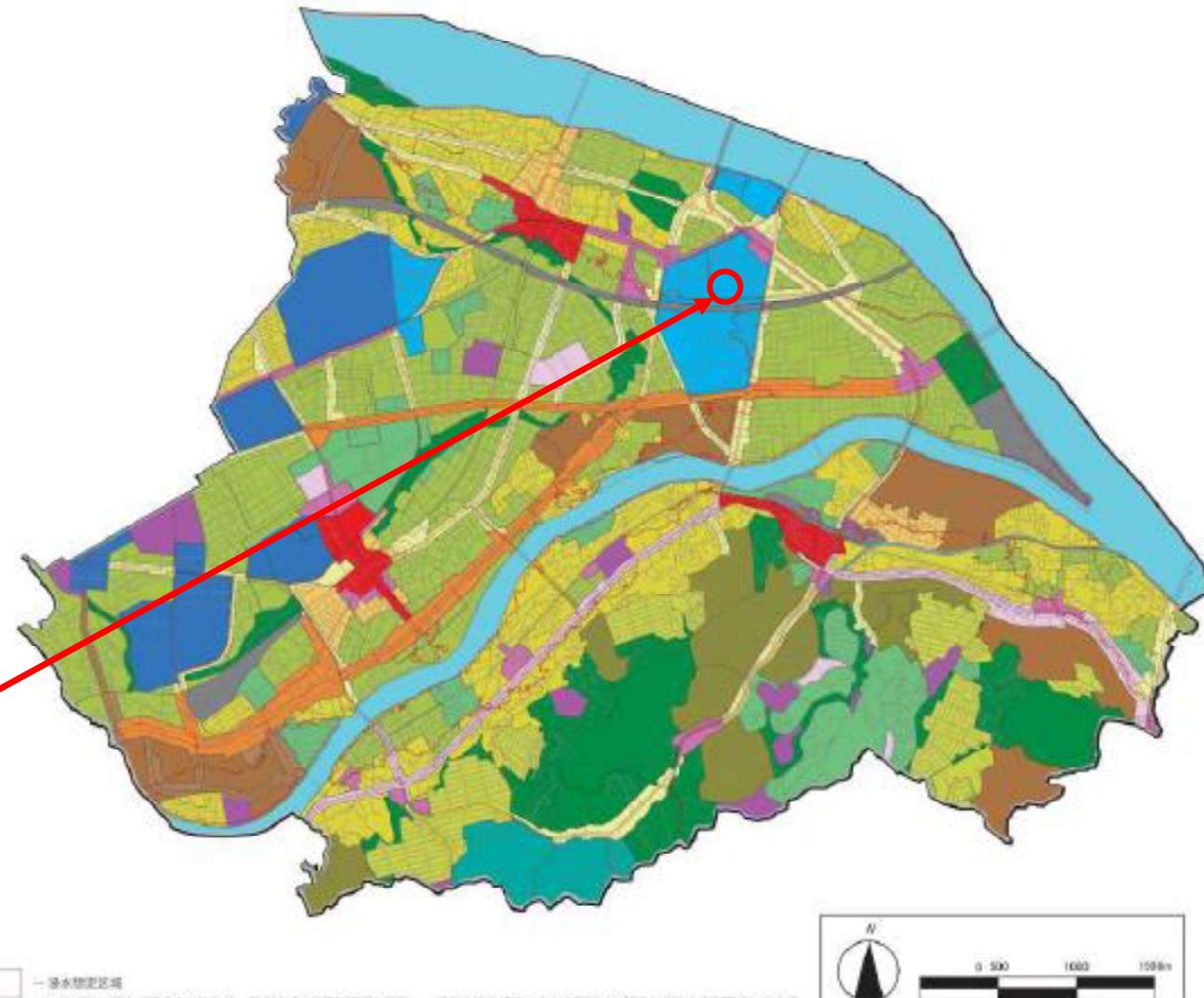
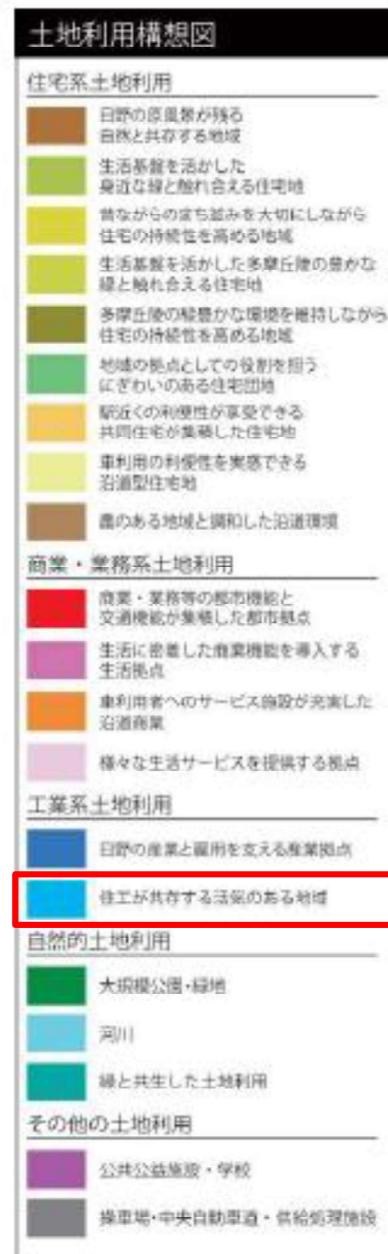
～事業者と共に歩み続けてきた住工共存の住環境の形成～

※土地利用基本計画(日野市まちづくりマスターplan)抜粋【MP 41,43ページ】

- ・住宅や工場等が混在する地区では、お互いの環境を阻害しないように共存していくことが必要
- ・事業者やその工場は、まちの形成には欠かせないものであり、またその一方で良好な住環境を保護していくこともまちづくりにおいては大切
- ・お互いが尊重しあい、共にあり続けるために土地区画整理事業や地区計画制度を活用しながらまちづくりを進め、住宅と工業の調和が取れた地区の形成を目指す
- ・様々な用途での土地利用が可能なため、規模の大きな敷地での土地利用では特に周辺環境に配慮が必要。このため、周辺の住環境の土地利用や建物高さと調和するよう、地区計画によるまちづくりを進めていくことを基本的な考え方とする
- ・比較的規模の大きい開発事業に係る土地利用転換にあっては、事業者が主体となり、街区の単位で地区計画を作成・提案することが望ましい

日野市まちづくりマスターplan 2019～2040

土地利用構想図



日野市まちづくりマスターplan 2019～2040 まちづくり基本計画

1-3 水と緑の自然の中で心と体の健康を育むまちをつくる

【MP 61ページ】

①自ら健康を自らつくる環境の整備

- ・まちなかを回遊できるネットワークをつくる

※助言(案)【1. (1)ア、イ】

2-1 安心して住み続けられるまちづくりを進める

【MP 67,68ページ】

①災害に強いまちをつくる

- ・風水害に強いまちをつくる

※【1. (2)ア、イ】

③環境負荷の少ない、自然に配慮したまちづくりの推進

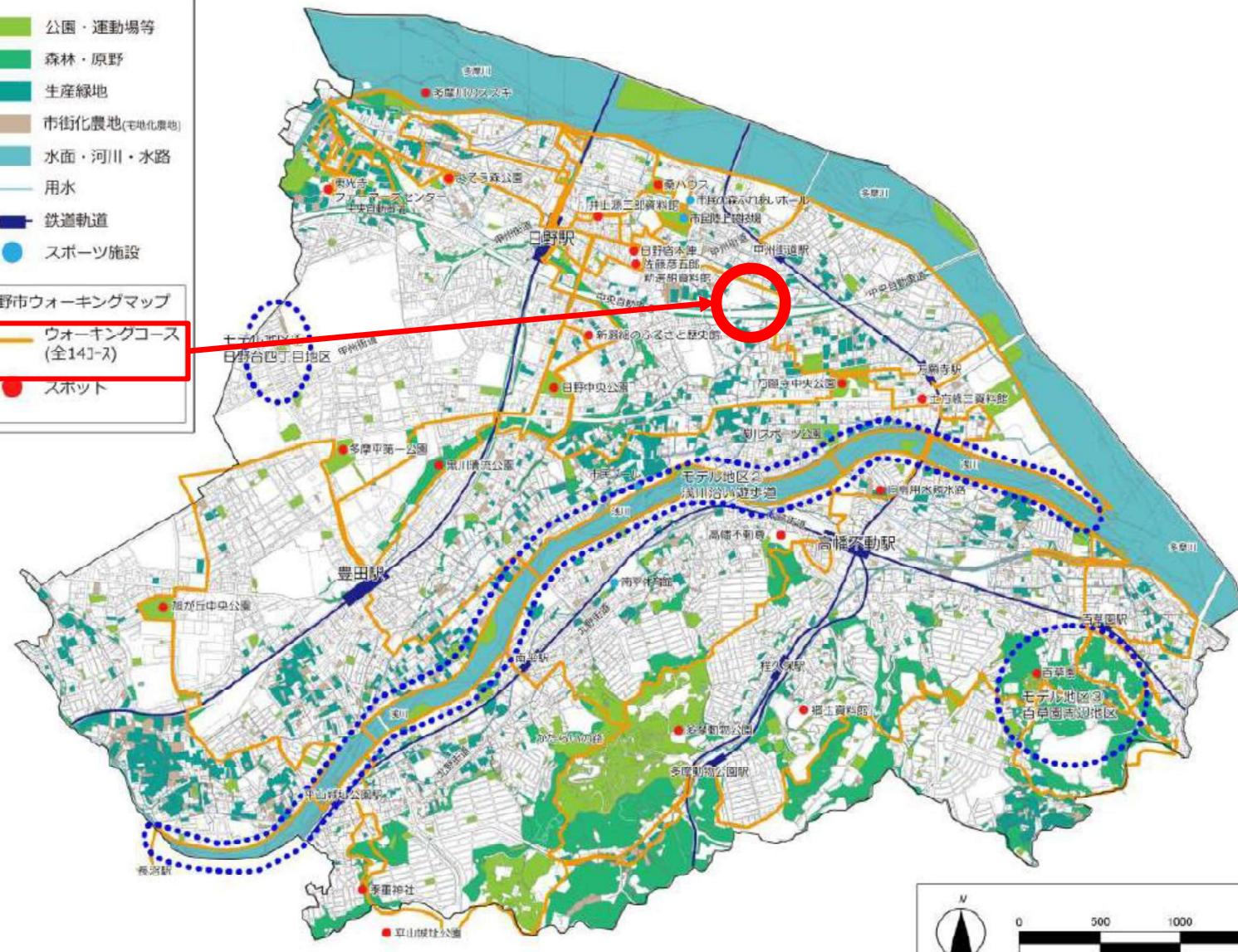
- ・環境負荷の少ない、都市基盤整備や住まいづくりを進める

※【1. (2)ウ】

日野市まちづくりマスターplan 2019～2040

1-3 水と緑の自然の中で心と体の健康を育むまちをつくる

凡例

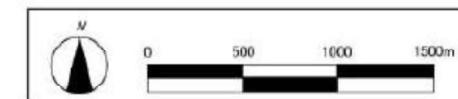
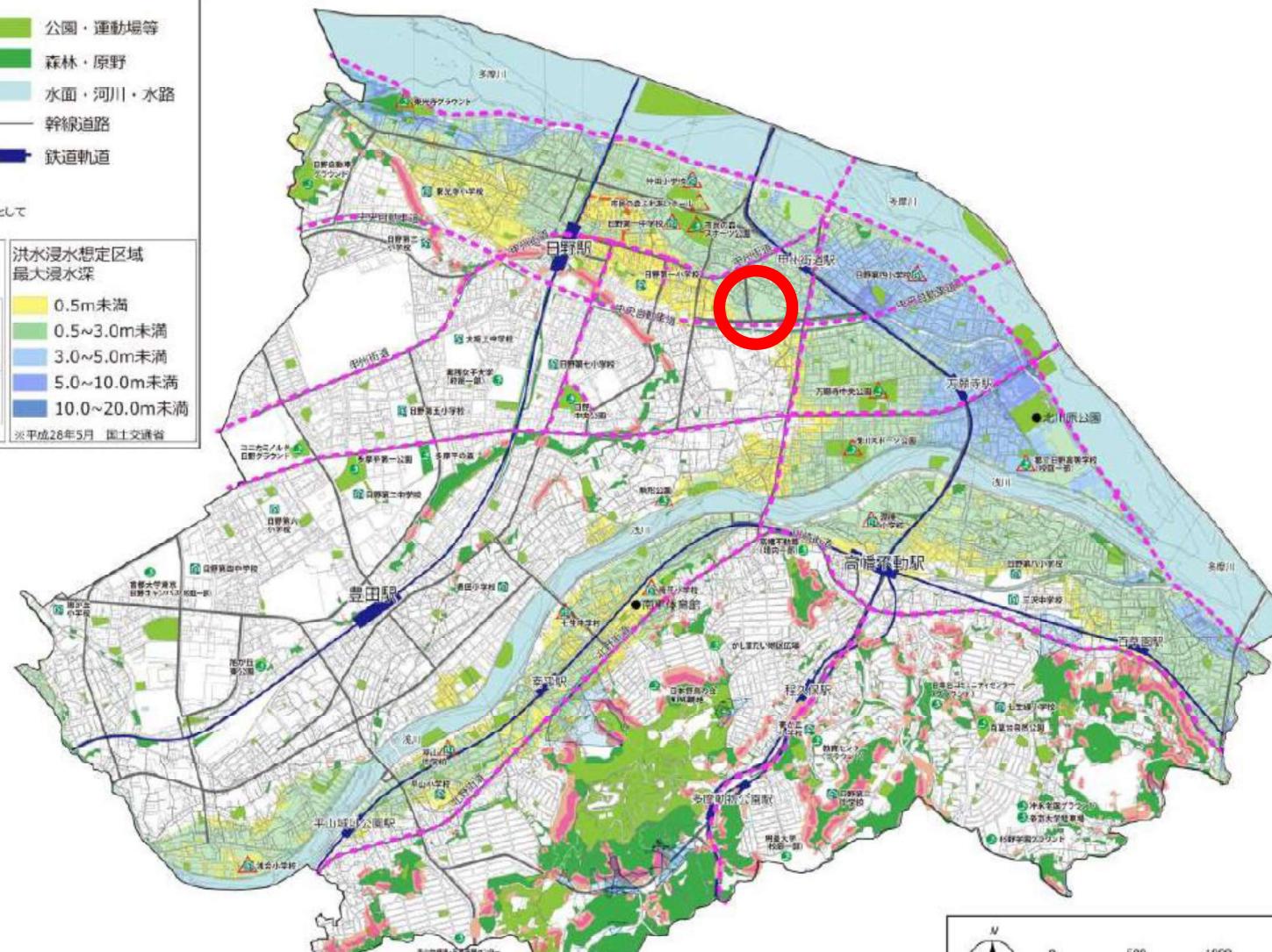


日野市まちづくりマスターplan 2019～2040

2-1 安心して住み続けられるまちづくりを進める

凡例

密集市街地整備の完了(日野本町4丁目)	公園・運動場等
緊急輸送道路	森林・原野
緊急避難場所	水面・河川・水路
避難所	幹線道路
緊急避難場所・避難所	鉄道軌道
洪水浸水時における避難場所・避難所として使用できない公園・施設	
土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域
土砂災害特別警戒区域	最大浸水深
急傾斜地の崩壊	0.5m未満
土砂災害警戒区域	0.5~3.0m未満
土砂災害特別警戒区域	3.0~5.0m未満
土石流	5.0~10.0m未満
土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域	10.0~20.0m未満
※平成30年3月 東京都	※平成28年5月 國土交通省



日野市まちづくりマスターplan 2019～2040 まちづくり基本計画

3-2 日野のまちづくりと共に歩んできた産業と これからも共に歩む

【MP 99ページ】

①工業を活性化するまちづくり

- ・住と工が共存したまちをつくる、事業者と市民との対話を進める

※【1. (3)ウ】

③適切な土地利用転換の誘導

- ・適切な土地利用転換への誘導

※【1. (3)ア、イ、エ、オ、カ】

地域別構想「日野第一中学校地域」 まちづくり方針

【MP 123,125ページ】

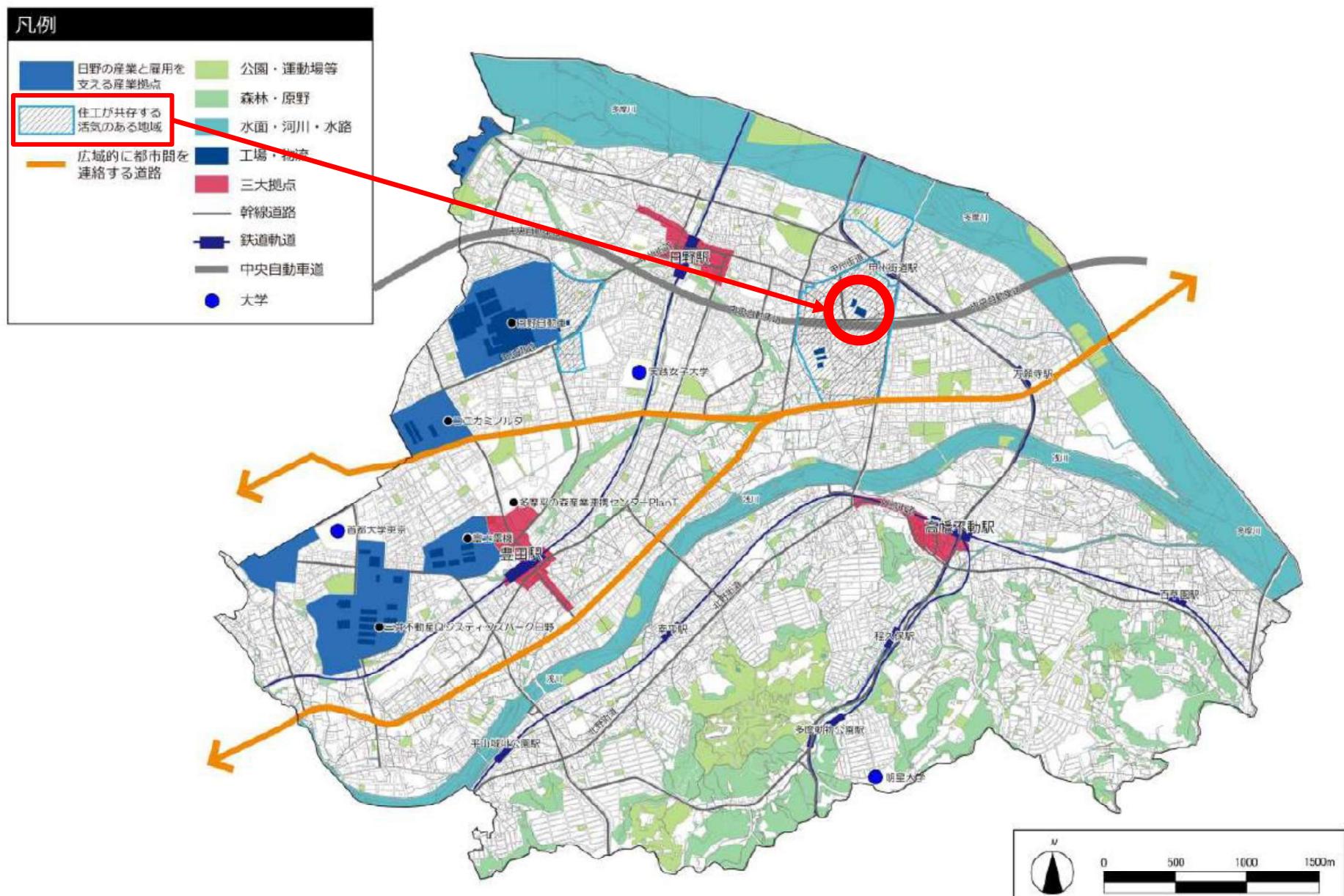
目標⑦日野の産業を支えてきた工場と生活が共存できる暮らし 交通結節機能の強化と交流拠点の育成

- ・地域には、日野の産業を支えてきた工場があり、工場と住宅が調和したまちづくりを進める

※【1. (3)ア、イ、ウ】

日野市まちづくりマスターplan 2019~2040

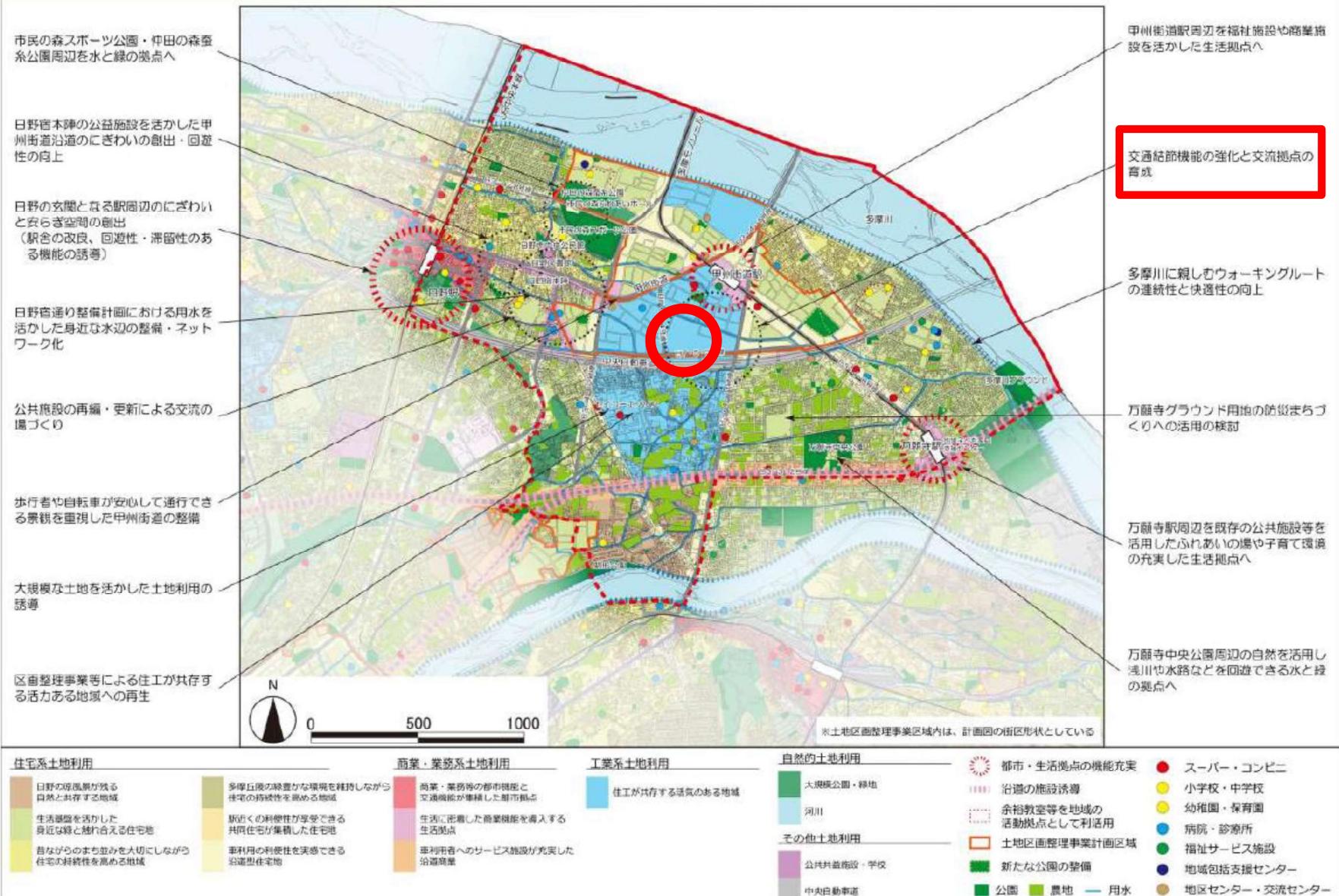
3-2 日野市のまちづくりと共に歩んできた産業とこれからも共に歩む



日野市まちづくりマスターplan 2019~2040

地域別構造: 日野第一中学校地域

日野第一中学校地域 まちづくり方針図



その他

関係法令の諸手続き及び基準の遵守

- ・日野市ユニバーサルデザイン推進条例

【 2 】

SDGsへの取組

- ・17のゴールの関連性の高いゴール

【 3 】

